

# 校 内 研 修 計 画

甲州市立松里中学校

## 1 学校課題

本校の生徒は、明るく素直で授業や生徒会活動にもまじめに取り組み、落ち着いた学校生活を送っている。基本的な生活習慣においては「松中生はよくあいさつをしてくれる」など、地域からも評価されている。諸活動においては、全体的に受動的な場面が多く見られるが、自発的に考え、判断し、実行しようとする姿が学習活動やその他の活動場面で少しずつ見られるようになり、今後一層育みたい「生きる力」の基礎となる資質や能力、態度の芽が十分に感じられる。今後は、昨年度から取り組んでいる「松中ノート」（家庭学習ノート）の精度をさらに高めていく必要がある。また、生徒個々にあった学習支援のあり方など、多面的多角的な視野で授業と家庭学習の連携を図ることが望ましい。また、ベースとなる集団の質の向上をさらに図っていきたい。

## 2 研究主題

### 「生きる力を育成する教育の創造」

－「わかる授業の工夫」と「家庭学習の充実」を通して「確かな学力」の定着を図る－

## 3 主題設定の理由

昨年度は、基礎・基本の定着をより一層図るために、授業づくりに視点を当て、「わかる授業」の工夫を家庭学習との連携の中で模索していった。一人一実践の授業を「スキルアップ授業」と位置づけ、自由に公開する中で、授業力の向上を図った。生徒にとって「わかる授業」づくりは、言語活動の充実や問題的解決学習など様々なアプローチが必要であり、その指導方法を研究の一つとして取り上げた。また、家庭学習のノートを「松中ノート」と名付け、全校統一の形式を整え取り組んだ。保護者にも協力を仰ぐ中で、定着を図った。今年度は、昨年度の研究をさらに深化、発展させていく必要がある。

## 4 研究の具体的な内容

### ○家庭学習の充実、家庭との連携

- ア 自主学習ノート（松中ノート）の効果的な活用。
- イ 三大会（英、数、国の基礎学力テスト）に向けた取り組み
- ウ 甲州市「家庭学習の手引き」の活用。

### ○授業づくり、授業力の向上

- ア 「一人一実践」（スキルアップ授業）による授業力の向上。
- イ 指導方法の研究と実践。
  - ・少人数・チームティーチング・習熟度・グループ学習の活用。
  - ・多様な人間への個に応じた指導の在り方の研究。
  - ・言語活動の充実を図る授業づくり、各教科ブロック研究会での情報交換。
- ウ 全体での研究授業と事後研究会。
- エ 生徒への事前・事後アンケートの実施による、生徒の学習に対する変容の見取り。

### ○集団の質の向上

- ア 学習規律の徹底、学習環境の整備。
  - ・Q-U調査、K-13法を活かした集団作り。
  - ・「話を聞く」「時間を守る」「あいさつ・返事」に関する指導。
- イ 「学びの集会」（仮称）の実施。各学年、学級での働きかけ。

5 年間研修計画

| 月日(曜)     | 回    | 研究内容   | TC・講師 |
|-----------|------|--|-------|
| 4月22日(水)  | 第1回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の研究の方向性</li> <li>・今年度の研究主題</li> <li>・研究組織の確認</li> <li>・年間研究計画の確認</li> <li>・甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携について</li> <li>・学習規律の確認</li> <li>・松中ノートの活用について</li> </ul> | なし    |
| 5月22日(金)  | 第2回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートについて</li> <li>・甲州市 teacher's note についての学習会</li> <li>・K13法による分析について</li> <li>・一人一実践(スキルアップ授業)について</li> </ul>   | なし    |
| 6月24日(水)  |      | ・プロジェクト集団作り学習会 講師 品田笑子先生   |       |
| 6月26日(金)  | 第3回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケート調査の集計結果について</li> <li>・K13法によるQ-U調査の分析の学習会(各学年)</li> </ul>   | なし    |
| 7月8日(水)   |      | ・プロジェクト授業作り講演会 講師 水戸部修治先生  |       |
| 8月26日(月)  | 第4回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの研究の振り返り(全体)</li> <li>・学年の課題, 取り組みの確認(各学年)</li> </ul>  | なし    |
| 9月16日(水)  | 第5回  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの集会」について(全体)</li> <li>・教科ブロック別研究会(各部会)</li> </ul>   |       |
| 10月21日(水) | 第6回  | ・学習会 講師招聘(仮)   | ○     |
| 10月28日(水) |      | ・プロジェクト授業作り学習会 多田貴志先生 日変更の予定   |       |
| 11月18日(水) | 第7回  | ・学びの集会(仮)  |       |
| 12月3日(水)  |      | ・プロジェクト講演会 講師 河村茂雄先生   |       |
| 12月9日(水)  | 第8回  | ・校内研究授業  | ○     |
| 1月27日(水)  | 第9回  | ・研究紀要について ・事後アンケートについて   |       |
| 1月29日(金)  |      | ・プロジェクト集団作り学習会 講師 鹿嶋真弓先生   |       |
| 2月26日(水)  | 第10回 | ・今年度の成果と課題, 来年度の方向性  | なし    |

